

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報

第5号（平成26年度）

Annual Report of the Tokushima Prefectural Torii Ryuzo Memorial Museum
No. 5 (for the fiscal year of 2014)

目 次

I 展覧事業	2	V 管理運営	13
1. 常設展		1. 組織・職員	
2. 企画展		2. 防災及び危機管理	
3. その他の展示		3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会	
4. 展示関係出版物		4. 視察等来訪者	
II 調査研究事業	7	VI 観覧者統計	15
1. 平成26年度の調査概要		VII 施設の概要	17
2. 研究成果の公表		1. 沿革	
III 資料収集保存事業	8	2. 施設の概要	
1. 館蔵資料数		VIII 例規	18
2. 寄贈資料			
3. 資料貸出			
4. 写真・映像等の提供			
5. 資料閲覧			
6. 資料整理ボランティア			
IV 普及教育事業	10		
1. 普及行事			
2. 学校教育の支援			
3. 講師の派遣			
4. インターネットによる情報発信			

I 展覧事業

鳥居龍蔵記念博物館の展示は、常設展と企画展、その他の展示からなる。

常設展は、鳥居龍蔵の生涯と研究業績を分かりやすく学ぶことができるよう3つの展示室で構成している。

東アジア各地における龍蔵の調査ルートをLEDランプで示す床地図、遼王朝の陵墓の復元模型とともに、収集した資料や写真を通して龍蔵の足跡が学べる展示内容としている。土器パズルや民族衣装などの体験学習キット、映像資料が検索・閲覧できるパソコンや、随時展示替える「トピックコーナー」も設置している。

常設展以外に、期間を限定して、特定のテーマに即して開催する企画展等がある。26年度は、企画展を1回開催したほか、文化の森の共同事業としての展示も開催した。

1. 常設展

(1) 展示構成

■第1展示室 鳥居龍蔵の見たアジア

鳥居龍蔵のアジア調査の成果について、地域別に概観できるよう構成している。龍蔵が撮影した写真、龍蔵が採集した民族・考古資料を幅広く紹介している。

1. 台湾・中国西南部
2. 中国東北部・内モンゴル
3. 遼
4. 朝鮮半島
5. 千島列島・サハリン・シベリア
6. 日本列島

■第2展示室 鳥居龍蔵の生涯

人類学を志した徳島での少年時代から、やがて東京に移ってからの研究、家族とともに携わった調査など、生涯にわたる足跡や多彩な交流の様子を紹介している。

1. 人類学への志
2. 家族とともに
3. 南アメリカ

■第3展示室 鳥居龍蔵から学ぶもの

検索機能を備えたパソコンを設置したり書籍を配架したりして、鳥居龍蔵の学問的な成果が学べるとともに、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

1. 情報コーナー（パソコンを使った鳥居龍蔵撮影

の写真の検索・閲覧や番組型コンテンツの提供)

2. 体験展示（土器パズル、カメラ体験、民族衣装の試着など）
3. 図書コーナー（鳥居龍蔵の著作などの閲覧用提供）

(2) 展示の部分改装

台湾関係の展示を充実させるため、部分的な改装を行った。内容は次のとおりである。

- ①展示室1のうち「台湾、中国西南部」コーナーの改装
 - ・「中国西南部」展示の移設
 - ・「台湾」展示の拡充（写真パネルの追加）
- ②展示室1の外壁面の改装
 - ・展示用パネル設置と写真の展示
 - ・ヤミ族の船タタラの大型拓本写真パネルの製作・設置



展示室1 台湾・中国西南部



タタラ拓本写真パネル

(3) トピックコーナーの展示替え

平成24年度より、第2展示室内の一部をトピックコーナーとし、整理の進んだ資料などを紹介するため随時展示替えを行っている。26年度の実績は次のとおりである。

●鳥居龍蔵の宮崎県調査—西都原古墳群—

平成25年度〔3月4日（火）〕～4月20日（日）

展示点数 7点（館蔵資料7点）

宮崎県の西都原古墳群第22号墳と第36号墳について、調査時のスケッチ（佐藤醇吉画）などを紹介した。

●鳥居龍蔵のみた縄文グルメ—貝塚調査から—

4月22日（火）～平成27年度〔5月10日（日）〕

展示資料点数 22点（館蔵資料0点）

鳥居龍蔵の城山貝塚発掘調査関連資料を中心に展示し、縄文時代における人々の食文化の一端を紹介した。



「鳥居龍蔵がみた縄文グルメ」の展示風景

2. 企画展

(1) よみがえる縄文世界—鳥居龍蔵の信州調査—

鳥居龍蔵は、地元教育会からの依頼を受け、1918年から1925年までの7年間、信州を訪れ実地調査を行った。鳥居は信州において自らの日本人起源論に基づいて遺跡、遺物の解釈を行い、山岳地域で石器時代の人々の居住跡を数多く確認し、これをアイヌの遺跡としてとらえた。一方で、同時期に「固有日本人」もこの山岳地域に移住し、アイヌと共存しながら接触・衝突を繰り返していたと考えた。

この展示では、当館の所蔵する資料等を中心に鳥居の主な学説を紹介した。また、信州調査の対象となった諏訪地方、伊那地方の出土遺物を展示し、信州の個性豊かな縄文土器の造形美を紹介するとともに、諏訪、伊那という地域がそれぞれ一体となって鳥居の調査を

支えた一面についても紹介した。

●主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館

●会場 徳島県立博物館企画展示室

●会期 平成27年1月24日（土）～3月1日（日）
（開館日数32日）

●展示構成とおもな展示資料

I 鳥居龍蔵の日本人起源論と信州調査

(1) アイヌ説・固有日本人説

・『有史以前乃日本』初版 当館蔵

(2) 鳥居の信州関係の著書

・『諏訪史 第一巻』 当館蔵

・『諏訪史 第一巻』資料探訪日誌

諏訪教育会蔵

・『諏訪史 第一巻』版木 諏訪教育会蔵

・鳥居が採集した遺物と調査カード

諏訪教育会蔵

・土器片（庄の畑遺跡出土） 諏訪市博物館蔵

・『下伊那の先史及原史時代』 当館蔵

・『先史及原史時代の上伊那』 当館蔵

・金銅製誕生仏（箕輪町上ノ平遺跡出土）

大槻高章蔵

(3) 曾根遺跡についての論争

・曾根遺跡の風景（写真）藤森栄一撮影

諏訪市博物館蔵

・石鏃（曾根遺跡出土） 諏訪市博物館蔵

(4) 信州の鳥居ゆかりの考古学者 八幡一郎

・旧御射山調査時の集合写真 諏訪市博物館蔵

II 信州の縄文世界—諏訪・伊那—

(1) 諏訪地方出土品

・土偶（海戸遺跡出土） 諏訪市博物館蔵

・深鉢形土器（海戸遺跡出土） 諏訪市博物館蔵

・深鉢形土器（上向遺跡出土）

市立岡谷美術考古館蔵

・十字形石器（ドルメン類似遺跡出土）

立沢構造改善センター蔵

(2) 伊那地方出土品

・有孔鏢付土器（御殿場遺跡出土）

伊那市創造館蔵

・顔面把手（伊那市富県南福地出土）

伊那市創造館蔵

・石棒（飯島町本郷堤ヶ窪出土）

織田信行蔵

●展示資料総点数 274点（館蔵資料39点）

●観覧料

一般200円（65歳以上100円）、高校・大学生100円、
小・中学生50円

●観覧者数 2,827人

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館企画展

よみがえる 縄文世界

—鳥居龍蔵の信州調査—

展示期間 2015年1月24日(土)～3月1日(日)

開館時間 9:30～17:00
休館日 月曜日
会場 徳島県立博物館企画展示室

観覧料 一般 200円(65歳以上100円)
高校・大学生 100円
小・中学生 50円

※20歳以上の若年者は2割引
※土・日曜日、祝日は高校生以下無料
※学校教育での利用は無料
※障がい者とその介助者1名は無料

主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館

展示解説
日時 2015年1月25日(日)・2月8日(日)・2月22日(日)
13:30～14:30
備考 観覧料が必要です 事前申し込み不要

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8570 徳島市八万町向神山
TEL 089-668-2544 FAX 089-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-cd.jp

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館企画展

よみがえる縄文世界

—鳥居龍蔵の信州調査—

2015年1月24日(土)～3月1日(日)

徳島市出身の人類学・民族学・考古学の研究者であった鳥居龍蔵(1870～1953)は、1918(大正7)年に長野県の諏訪教育会から依頼を受け、「諏訪史 第一巻」作成のための調査を開始しました。その後、下伊那教育会や上伊那教育会からも郡史編纂の依頼を受け、1925年までの間に何度も信州の現地を調査しました。そして、多くの縄文遺跡を踏査し、石器時代の人々が山岳地域に多く居住していたことが明らかとなり、信州が重要なフィールドであると確信したのです。

この企画展では、長野県の諏訪や伊那地方の遺跡から出土した縄文土器などを通して、みなさんに鳥居が魅了された縄文世界を体験していただきたいと思います。

【展示構成】
I 鳥居龍蔵の日本人起源論
II 信州の縄文世界
諏訪地方
伊那地方
信州の縄文アート

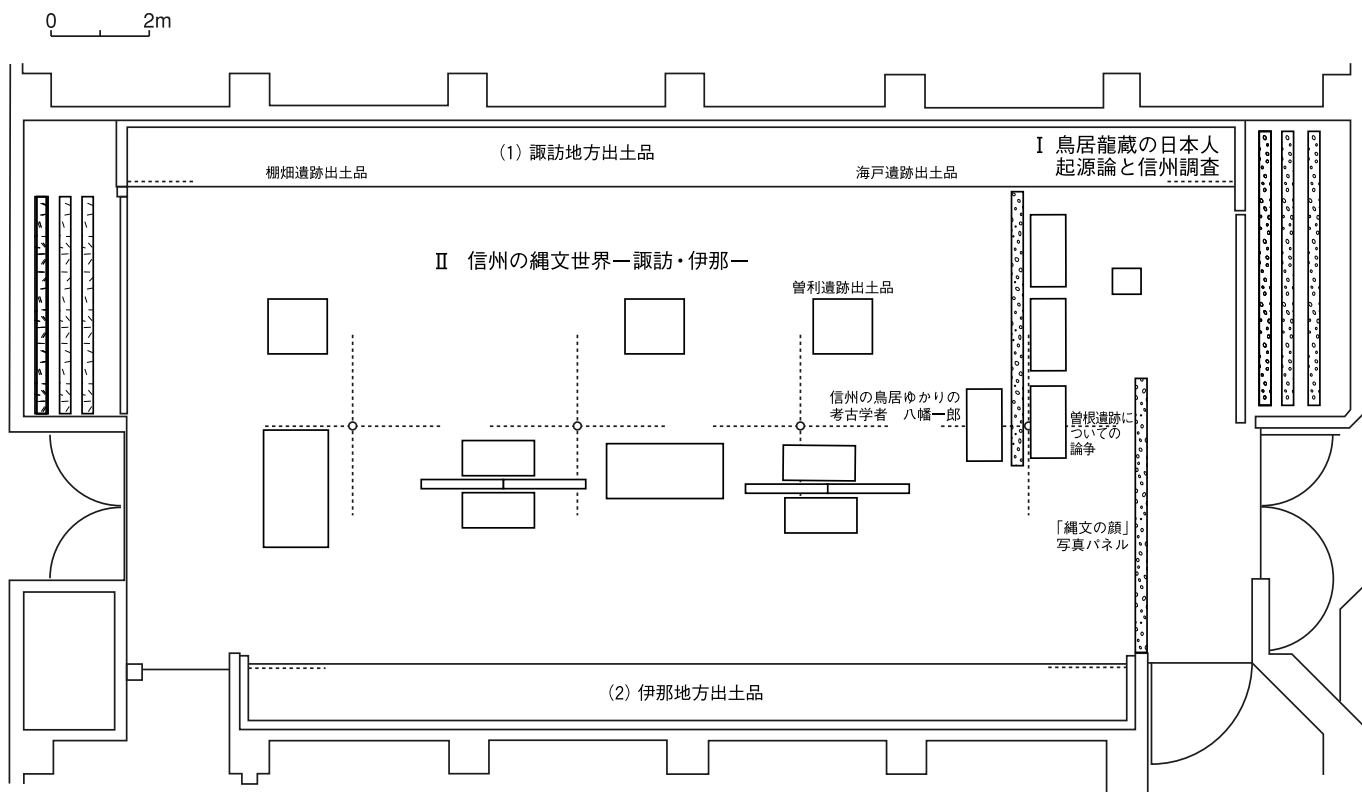
【関連行事】
展示解説
日時 2015年1月25日(日)・2月8日(日)・2月22日(日)
13:30～14:30
備考 観覧料が必要です 事前申し込み不要

交通のご案内

- 徳島駅から
バス………約25分
タクシー……約15分
- 文化の森から
徒歩………約35分
タクシー……バスの乗り場から約15分
- 徳島自動車道「徳島IC」から
車………約30分
※無料駐車場あり

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8070 徳島市八万町向神山
TEL 089-668-2544 FAX 089-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-cd.jp

「よみがえる縄文世界—鳥居龍蔵の信州調査—」チラシ(写真左:表 写真右:裏)



「よみがえる縄文世界—鳥居龍蔵の信州調査—」展示配置図



「鳥居龍蔵の日本人起源論と信州調査」のコーナー



「信州の縄文世界—諏訪・伊那—」のコーナー



『諏訪史 第1巻』『下伊那の先史及原史時代』の展示



諏訪、伊那地方出土品の展示



『先史及原史時代の上伊那』の展示



目切遺跡、海戸遺跡、榎垣外遺跡出土
顔面把手付縄文土器の展示

6 展覧事業

●関連行事

展示解説

- 第1回：日時 1月25日（日）
午後1時30分～2時30分
参加者 30人
- 第2回：日時 2月8日（日）
午後1時30分～2時30分
参加者 48人
- 第3回：日時 2月22日（日）
午後1時30分～2時30分
参加者 30人



展示解説

3. その他の展示

(1) 2014年度文化の森人権問題啓発展

文化の森6館と徳島県教育委員会人権教育課との共催で、人権問題啓発展（識字学級生の作品を中心とする展示）を行った。

- 主催 文化の森6館・徳島県教育委員会人権教育課
- 期間 平成26年12月10日（水）～12月16日（火）
- 会場 近代美術館ギャラリー（展示）、ミニシアター（ビデオ上映）
- 入場者数 315人

4. 展示関係出版物

(1) 企画展図録

- 企画展「よみがえる縄文世界―鳥居龍蔵の信州調査―」
図録
2015年1月24日発行、A4判、32ページ、500部

Ⅱ 調査研究事業

鳥居龍蔵記念博物館では、設置の趣旨にもとづき、鳥居龍蔵とその周辺に関する調査研究を進めることで、最新の情報を盛り込んだ展示や内容豊かな普及活動による鳥居龍蔵の顕彰を図るための基盤整備を進めている。とくに、館蔵資料に即した調査研究に重点を置いて取り組んでいる。

現在、専任の学芸スタッフ2名と、兼務職員がともにこの業務に携わっている。

1. 平成26年度の調査概要

(1) 館外研究者との共同調査

館外の研究者とともに資料調査を行い、相互に研究の進展を図った。以下に、共同研究者とテーマを列記する。

- ①鄭 至娟氏、林 順奎氏（仏教文化財研究所）、李 成制氏（東北亜細亜歴史財団）鳥居龍蔵が行った慶州調査に関連する写真資料の調査
- ②董 新林氏（中国社会科学院）、佐川正敏氏（東北学院大学）鳥居龍蔵が収集した中国東北部調査に関連する収蔵品の調査

2. 研究成果の公表

(1) 鳥居記念博物館研究報告第2号の発行

2015年3月27日発行、A4判116ページ、600部

（*は館外研究者）

論説

ラファエル・アバ*：外国語学習から見た鳥居龍蔵の学問的な歩み。p.1-21.

咸舜燮*（吉井秀夫* 訳）：植民地時代における鳥居龍蔵の慶州月城および大邱達城調査について。p.23-41.

吉井秀夫*：鳥居龍蔵による慶尚北道・慶尚南道調査関連資料について。p.43-70.

鳥居純一*・長谷川愛*：鳥居龍蔵が採集したガラス小玉の保存科学的調査—製作技法の検討および蛍光X線分析による材質調査結果—。p.71-85.

資料紹介

下田順一・大原賢二*：鳥居龍蔵の鹿児島調査関係スケッチ帳。p.87-115.

(2) 公表論文・報告・記事等一覧

〈一般著述〉

上田浩敬（2015.2）顔面把手付土器。徳島新聞2015年2月6日夕刊（こども新聞）。

下田順一（2015.2）長野県で出土の土偶。徳島新聞2015年2月20日夕刊（こども新聞）。

Ⅲ 資料収集保存事業

鳥居龍蔵記念博物館では、鳴門市にあった旧館（鳥居記念博物館）から引き継いだ資料の詳細な調査・整理やデータ登録、保存を資料収集保存事業の中心としている。平成26年度は、臨時補助員1名及び文化推進員1名の援助を得て作業を進めた。

また、鳥居龍蔵に関連する資料の新規購入にも努めた。27年度以降も引き続き、新規収集を心がけていきたい。

1. 館蔵資料数

考古資料・民族資料・書籍類・写真・拓本・自筆原稿・書簡等の総数は約63,000点である。調査・整理を継続しており、実数は未だつかめていないが、未開封だった資料の精査が進んできたため、総数としては増加傾向にあると思われる。

また、26年度は、今後の企画展等の開催計画や情報収集、展示用資料の充実を考慮して、参考図書を計21点購入した。

2. 寄贈資料

- ①扇子（大正10年鳥居龍蔵贈呈）等 2点
古幡明道氏

3. 資料貸出

- ①西都原古墳群調査のスケッチなど 28点
宮崎県立西都原考古博物館（展示資料）

4. 写真・映像等の提供

- ①朝鮮半島調査関連資料写真 13点
韓国国立大邱博物館（出版物掲載）
- ②唐仁大塚古墳、橋牟礼川遺跡等関連写真・スケッチなど 6点
池畑耕一氏（出版物掲載）
- ③西都原古墳群調査のスケッチ 32点
宮崎県立西都原考古博物館（映像制作）
- ④鳥居龍蔵肖像ほか写真 2点
高木正文氏（出版物掲載）

- ⑤鳥居龍蔵肖像写真 1点
国立歴史民俗博物館（出版物掲載・展示資料）
- ⑥鳥居龍蔵肖像写真 1点
宮城弘樹氏（出版物掲載）
- ⑦鳥居龍蔵一家3人の写真 1点
(株)芳林社（出版物掲載）
- ⑧遼の慶陵内部を調査する鳥居龍蔵の写真 1点
阿波学会（出版物掲載）
- ⑨西都原古墳群調査のスケッチなど 5点
宮崎県立西都原考古博物館（出版物掲載）
- ⑩鳥居龍蔵肖像写真 1点
徳島市教育研究所（教材制作）
- ⑪鳥居龍蔵肖像写真 1点
徳島県教育委員会 学校政策課（出版物掲載・教材制作）
- ⑫鳥居龍蔵肖像写真 1点
歴史・文化道推進会議（出版物掲載）
- ⑬鳥居龍蔵肖像ほか写真 2点
Robert S.Boynton（出版物掲載）
- ⑭護照写真 1点
楊 錦華氏（出版物掲載）
- ⑮西都原古墳群出土遺物等のスケッチ 5点
宮崎県立西都原考古博物館（出版物掲載）

5. 資料閲覧

- ①台湾関係資料 13点
北海道大学（北村嘉恵氏）
- ②朝鮮慶州調査団関係資料
仏教文化財研究所（鄭 至娟氏、林 順奎氏）
東北亜細亜歴史財団（李 成制氏）
- ③中国東北部調査関連資料
中国社会科学院（董 新林氏）
東北学院大学（佐川正敏氏）

6. 資料整理ボランティア

鳥居龍蔵記念博物館の収蔵資料及びデータベースの公開に向けて、平成25年度に資料整理作業にボランティアの協力を得ることとした。

ボランティアのメンバーは歴文クラブ（シルバー大
学校及び同大学院の歴史文化講座修了者の会）の会員
5名である。鳥居龍蔵記念博物館のミュージアムトー
クや記念講演会を聴講するなど研修をおこなったうえ
で、平成26年度から本格的に作業を開始した。月2回
程度のペースで活動を行い、必要に応じて有識者の助
言を得ながらデータの蓄積を図った。26年度の活動回
数及び実施日は次のとおりである。

- 第1回 5月16日（金）
- 第2回 6月18日（水）
- 第3回 6月24日（火）
- 第4回 7月9日（水）
- 第5回 7月22日（火）
- 第6回 9月3日（水）
- 第7回 9月24日（水）
- 第8回 10月3日（金）
- 第9回 11月18日（火）
- 第10回 12月12日（金）
- 第11回 2月13日（金）
- 第12回 2月24日（火）
- 第13回 3月17日（火）



ボランティア活動の様子

IV 普及教育事業

鳥居龍蔵記念博物館における普及教育事業は、鳥居龍蔵の顕彰を推進するための県民に対する情報発信の意味をもち、重要である。また、調査研究や資料収集保存の成果を示すという意味でも、展示とともに意義深い事業といえる。

1. 普及行事

平成26年度は、ミュージアムトークや夏休み自由研究スペシャル企画、野外見学などを行った。また、文化の森合同イベントに参加して体験コーナーを開設するなど、普及啓発につとめた。

- ①「食べる！文化の森フェスティバル」（ぬり絵とすごろくで楽しもう）5月5日（月・祝）1,089人
- ②ミュージアムトーク「鳥居龍蔵の宮崎・鹿児島での古墳調査」6月15日（日）9人
- ③夏休み自由研究スペシャル企画（みんなで発見！鳥居龍蔵を知ろう！）8月17日（日）12人
- ④「文化の森 サマーフェスティバル」（民族衣装を着てみよう！）8月24日（日）885人
- ⑤ミュージアムトーク「鳥居龍蔵の諏訪地方調査」9月14日（日）7人
- ⑥「文化の森 大秋祭り!!」（絵あわせパズルをつくろう）11月3日（月・祝）938人
- ⑦ミュージアムトーク「鳥居龍蔵の伊那地方調査」11月23日（日・祝）18人
- ⑧ミュージアムトーク「鳥居龍蔵の諏訪地方調査」1月17日（土）5人
- ⑨企画展「よみがえる縄文世界」展示解説1月25日（日）30人
- ⑩企画展「よみがえる縄文世界」展示解説2月8日（日）48人
- ⑪「文化の森ウィンターフェスティバル」（すごろくにチャレンジ!）2月11日（水・祝）1,000人
- ⑫企画展「よみがえる縄文世界」展示解説2月22日（日）30人
- ⑬博学連携推進モデル事業成果発表会2月22日（日）46人
- ⑭「鳥居龍蔵ゆかりの地を歩こう」3月22日（日）5人

⑮クイズラリー

徳島県立博物館が実施しているクイズラリー（小・中・高校生対象）に、当館も参画した。平成26年度は、延べ2,433人（小学校中学年以下1,795人、小学校高学年以上638人）の参加があった。



「食べる！文化の森フェスティバル」の様子



「ミュージアムトーク」の様子

2. 学校教育の支援

(1) 出前授業

学校からの依頼に応じ、講師として学芸員を派遣した。
 新町小学校（徳島市） 11月11日（火）
 5年生 20人
 「鳥居龍蔵を学ぶ」（講師：下田）

(2) 「教員のための博物館の日」への参加

7月30日（水）、徳島県立博物館で開催された「教員のための博物館の日in徳島2014」において、当館のブースを設け、授業への講師派遣（出前授業）について周知を図った。

(3) 博学連携推進モデル事業の実施

高校生の利用促進や鳥居龍蔵への関心の喚起を図ることを目的に、徳島市立高等学校（歴史研究部）と連携して事業に取り組んだ。

① テーマ学習

第1回 5月30日（金）

テーマ 鳥居龍蔵と鳥居龍蔵記念博物館

内容 ガイダンス、当館及び県立博物館の常設展見学

会場 当館、徳島県立博物館

第2回 6月15日（日）

テーマ 鳥居龍蔵とアイヌ民族①

内容 天羽利夫氏（鳥居龍蔵を語る会）
「鳥居龍蔵に魅せられて」
吉原秀喜氏（北海道平取町職員）
「鳥居龍蔵のアイヌ民族・文化論」

会場 徳島県立文学書道館

第3回 8月26日（火）

テーマ 鳥居龍蔵とアイヌ民族②

内容 関口 寛氏（四国大学准教授）
「鳥居龍蔵の人類学研究とアイヌ民族とその周辺」

会場 四国大学経営情報学部

第4回 12月25日（木）

テーマ アイヌ民族について

内容 齋藤玲子氏（国立民族学博物館助教）
「アイヌ民族の歴史と文化」
国立民族学博物館の常設展見学

会場 国立民族学博物館

② 自主研究

(1) 鳥居龍蔵と人類学について

(2) 鳥居龍蔵『ある老学徒の手記』の講読

(3) (1)(2)及びテーマ学習を踏まえた論点整理と検討

③ 成果発表会「高校生が見た鳥居龍蔵」

日時 2月22日（日）14：30～15：30

会場 文化の森ミニシアター



講義を聞く様子



国立民族学博物館での見学の様子



成果発表会の様子

3. 講師の派遣

外部機関・団体等からの講師派遣依頼について、業務に支障のない範囲で、普及教育事業の一環として対応している。

7月7日（月）下田順一

デイサービスわかばで講演「鳥居龍蔵について」

8月1日（金）下田順一

徳島県シルバー大学校徳島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（県立総合福祉センター）

11月21日（金）下田順一

デイサービスわかばで講演「鳥居龍蔵について」

12月1日（月）上田浩敬

徳島県シルバー大学校上板校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（上板町老人福祉センター）

4. インターネットによる情報発信

鳥居龍蔵記念博物館のホームページを開設し、事業の紹介や学習教材提供などを行っている。内容は次のとおりである。なお、平成26年度には、博学連携推進モデル事業「高校生が調べる鳥居龍蔵」のページを設け、活動の状況を紹介した。また、研究報告第2号をダウンロードできるようにした。

- ・展示・行事等の案内
- ・アクセス案内
- ・学校教育での利用（遠足）の案内
- ・常設展示の紹介
- ・鳥居龍蔵の生涯（年表）
- ・よみもの「阿波の偉人再発見！鳥居龍蔵」
- ・鳴門市にあった旧館（徳島県立鳥居記念博物館）の紹介
- ・台湾向けパンフレットのダウンロードコーナー
- ・出版物PDFファイルダウンロードコーナー

V 管理運営

1. 組織・職員

(1) 組織図（平成27年5月1日現在）

館長 [1] 一副館長 [1] 一学芸課 4 [3]
 (学芸員 2 [3]、
 臨時補助員 1、
 文化推進員 1)
 [] は兼務者数 (外数)

(2) 職員名簿（平成27年5月1日現在）

館長 高島 芳弘 (県立博物館長本務)
 副館長 久米みどり (県立博物館副館長本務)
 学芸課長 長谷川賢二 (県立博物館人文課長本務)
 課長補佐 石井 伸夫
 主任 下田 順一
 主任 松永 友和 (県立博物館主任本務)
 主任学芸員 岡本 治代 (県立博物館主任学芸員本務)
 臨時補助員 黒田 有希
 文化推進員 竹内 里奈

(3) 人事異動（平成27年4月1日付）

転出：上田 浩敬・主事、板野高等学校教諭へ
 転入：石井 伸夫・課長補佐（鳴門渦潮高等学校教頭）

(4) 平成26年度臨時・非常勤職員

●臨時補助員
 大島 美咲（平成26. 4. 1～27. 3. 31）
 ●文化推進員（非常勤特別職）
 土居貴代子（平成24. 1. 4～27. 1. 3）

2. 防災及び危機管理

(1) 危機管理体制

文化の森3館棟で消防防災計画を立て、二十一世紀館、博物館、近代美術館、当館と文化の森の警備、設備、食堂等の業者で自衛消防隊を組織し、訓練を行って非常時に備えている。

(2) 防火防災訓練

二十一世紀館を中心に、6月5日（木）に緊急地震速報対応訓練を実施し、9月3日（水）及び9月24日

（水）には防火防災訓練を行った。また、1月26日（月）には文化財防火デーの一環として防災訓練を行った。

3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会

鳥居龍蔵記念博物館協議会は、運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。委員は、県立博物館協議会委員による兼務である。

平成26年度は、県立博物館協議会を兼ねて1回開催した。

●26年度鳥居龍蔵記念博物館協議会

日時：平成26年9月17日（水）
 午後1時30分～4時30分
 会場：徳島県立近代美術館 講座室
 議事

- (1)平成25年度事業の実施状況について
- (2)平成26年度事業計画について
- (3)その他

平成26年度鳥居龍蔵記念博物館協議会委員

区分	氏名	役職等
学校教育	下川 純代	県小学校教育研究会理科部会副会長 (白地小学校長)
	朝日 明己	県中学校教育研究会社会科部会長 (応神中学校長)
	中村 顕也	県高等学校教育研究会地歴学会副会長 (富岡西高等学校教頭)
社会教育	鈴木 綾子	徳島ペンクラブ副会長 阿波の歴史を小説にする会事務局長
	○町田 哲	鳴門教育大学大学院准教授
	松下 師一	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館館長補佐
学識経験	◎玉有 繁	徳島文理大学教授
	玉田 香織	藍住町国際交流協会理事
	佐藤 陽香	徳島新聞社三好支局記者
家庭教育	大野 美加	八万中学校PTA本部役員

◎は会長、○は副会長

4. 視察等来訪者

4月5日 東京成徳大学 増尾伸一郎氏

6月25日 北海道大学 北村嘉恵氏

12月3日 仏教文化財研究所 鄭 至娟氏

林 順奎氏

東北亜細亜歴史財団 李 成制氏

1月28日～1月30日

中国社会科学院 董 新林氏、

東北学院大学 佐川正敏氏

VI 観覧者統計

●平成26年度 常設展観覧者数

月	開催日数	有料観覧者							無料観覧者														観覧者総数			
		個人			団体(割引20%)				有料観覧者計	学校教 育										個人				無料観覧者計		
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	幼稚園・保育園		小学校	中学校	高校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他							
4月	26	54	7	4	2	0	0	67	0	0	0	0	0	0	1	277	1	277	142	17	6	15	76	138	671	738
5月	27	38	10	2	5	0	0	55	0	0	14	888	1	27	0	0	15	915	432	40	9	44	129	1,055	2,624	2,679
6月	25	56	18	0	20	11	0	104	0	0	2	47	1	9	1	2	4	58	106	14	5	28	149	134	494	598
7月	27	30	17	0	5	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127	7	6	11	126	387	664	716
8月	27	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	630	53	19	55	224	1,631	2,612	2,612
9月	25	30	17	0	21	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	16	2	29	131	250	604	672
10月	27	40	6	0	7	1	0	54	0	0	7	232	0	0	1	56	8	288	106	7	9	48	113	87	658	712
11月	26	24	6	0	5	6	0	41	0	0	1	149	0	0	0	0	1	149	343	8	8	16	285	1,185	1,994	2,035
12月	24	31	9	0	12	0	0	52	0	0	1	27	1	40	0	0	2	67	156	14	8	20	49	196	510	562
1月	23	32	21	0	7	0	0	60	3	176	2	202	1	8	0	0	6	386	86	12	0	14	107	136	741	801
2月	24	41	21	0	14	0	0	76	3	89	4	191	0	0	0	0	7	280	359	2	4	26	105	691	1,467	1,543
3月	26	60	18	3	12	0	0	93	2	116	1	19	1	13	0	0	4	148	107	10	0	14	81	190	550	643
計	307	436	150	9	110	18	0	722	8	381	32	1,755	5	97	3	335	48	2,568	2,770	200	76	320	1,575	6,080	13,589	14,311

(※) 7月19日(土)～8月31日(日)は「家族でお出かけ・節電キャンペーン」により無料。

●常設展観覧者数累計(平成22年度～26年度)

年度	開催日数	有料観覧者										無料観覧者														観覧者総数					
		個人			団体(割引20%)				有料観覧者計	学校教 育										個人				無料観覧者計							
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	高齢者		障がい者	計	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他									
22	121	909	33	6	66	0	0	790	49	839	0	0	1,853	9	540	15	851	2	12	1	15	27	1,418	1,259	60	37	—	—	3,432	6,206	8,059
23	309	895	77	13	71	44	0	556	84	640	0	0	1,740	1	90	32	2,179	7	641	3	332	43	3,242	2,950	270	214	—	—	8,510	15,184	16,924
24	308	621	106	4	65	0	0	120	22	142	0	0	938	2	182	33	2,450	2	9	2	341	39	2,982	3,089	225	135	129	829	7,256	14,645	15,583
25	307	506	176	4	48	48	0	—	—	—	—	—	782	10	538	36	2,197	1	3	1	142	48	2,880	2,886	294	158	203	1,071	6,382	13,874	14,656
26	307	436	150	9	110	18	0	—	—	—	—	—	722	8	381	32	1,755	5	97	3	335	48	2,568	2,770	200	76	320	1,575	6,080	13,589	14,311
計	1,352	3,367	542	36	360	110	0	1,466	155	1,621	0	0	6,035	30	1,731	148	9,432	17	762	10	1,165	205	13,090	12,954	1,049	620	652	3,475	31,660	63,498	69,533

(※) 平成24年9月より、高齢者(65歳以上)及び障がい者は無料。

●企画展観覧者数(平成23年度～26年度)

企画展名	開催期間	開催日数	有料観覧者										無料観覧者				観覧者総数
			個人			団体(割引20%)				減免(割引50%)	有料観覧者計	個人			無料観覧者計		
			一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	高齢者			障がい者	高校・大学生	小・中学生		その他	
鳥居龍蔵の見た台湾	平成24. 1. 28～3. 11	38	549	21	1	14	1	0	559	34	1,179	20	1,037	363	1,420	2,599	
鳥居龍蔵の国内調査—沖縄・南九州—	平成26. 1. 25～3. 2	32	270	22	0	11	0	0	139	—	442	9	595	707	1,311	1,753	
よみがえる縄文世界—鳥居龍蔵の信州調査—	平成27. 1. 24～3. 1	32	377	40	7	78	0	0	285	—	787	39	756	1,245	2,040	2,827	
合計		102	1,196	83	8	103	1	0	983	34	2,408	68	2,388	2,315	4,771	7,179	

(※) 平成24年9月より、障がい者は無料。

●特別陳列観覧者数累計(平成23年度～24年度)

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の見た北東アジア	平成23. 10. 29～12. 4	32	4,534
鳥居龍蔵とアイヌ	平成25. 1. 26～3. 3	32	5,465
合計		64	9,999

16 観覧者統計

●人権啓発展等観覧者数（平成22年度～26年度）

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
2010年度人権問題啓発展	平成22. 11. 30～12. 5	6	670
2011年度人権問題啓発展	平成23. 12. 6～12. 11	6	383
2012年度人権問題啓発展	平成24. 12. 4～12. 9	6	356
2013年度人権問題啓発展	平成25. 12. 4～12. 10	6	341
2014年度人権問題啓発展	平成26. 12. 10～12. 16	6	315
合 計		30	2,065

●その他（啓発展を除く共催事業）観覧者数（平成23年度～）

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵が見た「祭り」「踊り」	平成23. 7.20～23. 8. 28	36	4,038
合 計		36	4,038

(※) 観覧者数は開催期間中の常設展来館者数合計。

●利用者総数年度別一覧

年度	常 設 展		常設展 観覧者 合 計	企画展 観覧者	特別陳列 観 覧 者	移動展	普及行事 参 加 者	その他	利用者総数
	有 料 観覧者	無 料 観覧者							
22年度	1,853	6,206	8,059	—	—	—	236	670	8,965
23年度	1,740	15,184	16,924	2,599	4,534	—	412	4,421	28,890
24年度	938	14,645	15,583	—	5,465	—	1,968	356	23,372
25年度	782	13,874	14,656	1,753	—	—	3,387	370	20,166
26年度	722	13,589	14,311	2,827	—	—	4,167	336	21,641
累 計	6,035	63,498	69,533	7,179	9,999	—	10,170	6,153	103,034

(※) 特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数。

●（参考）鳥居記念博物館（旧館）の観覧者数（平成15年度～21年度）

年度	有 料 観 覧 者								無 料 観 覧 者								観覧者 総 数		
	個 人			団 体				高 齢 者	有 料 観覧者 計	学 校 教 育 (免 除)			個 人					無 料 観覧者 計	
	小・中	高・大	一般	小・中	高・大	一般	一般			小学校	中学校	高校	小学校	中学校	高校	障がい者			その他
	70円	120円	240円	50円	70円	120円	190円			120円									
15年度	25	14	3,003	0	0	69		410	3,521				648	349	40	26	721	1,784	5,305
16年度	12	144	2,600	0	29	185	72	488	3,530	114	292	0	419	71	53	19	1,305	2,273	5,803
17年度	6	129	2,642	1	196	366	0	479	3,819	131	0	0	513	78	44	19	1,161	1,946	5,765
18年度	7	124	2,242	0	0	187	0	399	2,959	0	11	0	457	67	40	27	1,383	1,985	4,944
19年度	7	132	2,089	0	1	331	0	466	3,026	158	238	0	364	76	40	27	1,220	2,123	5,149
20年度	6	120	2,176	0	1	189	0	460	2,952	104	17	77	364	85	39	18	1,212	1,916	4,868
21年度	18	68	1,970	44	2	247	0	489	2,838	0	0	101	1,040	276	36	17	3,938	5,408	8,246

VII 施設の概要

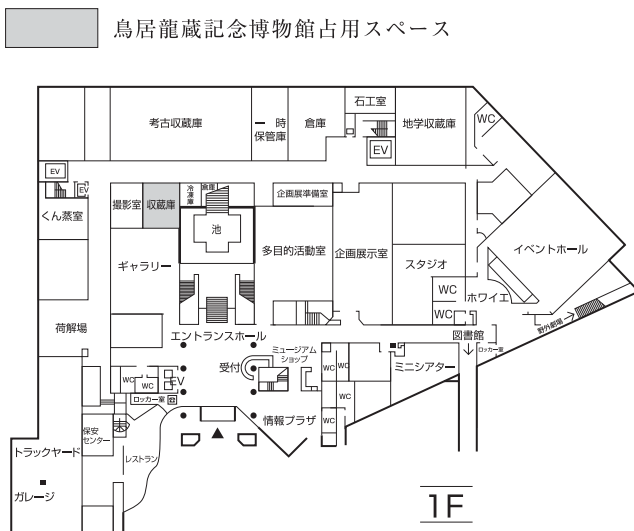
1. 沿革

- 昭和40年 3月 鳴門市撫養町の妙見山に旧館（徳島県立鳥居記念博物館）開館
- 平成18年 7月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会設置
- 19年12月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会が「鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会報告書」を知事に提出
- 20年 3月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会設置
- 7月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会が「徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（仮称）展示計画書」をとりまとめ
- 21年 3月 展示実施設計完了
- 7月 展示工事着手
- 22年 3月 旧館閉館
- 9月 展示工事竣工
- 11月 開館

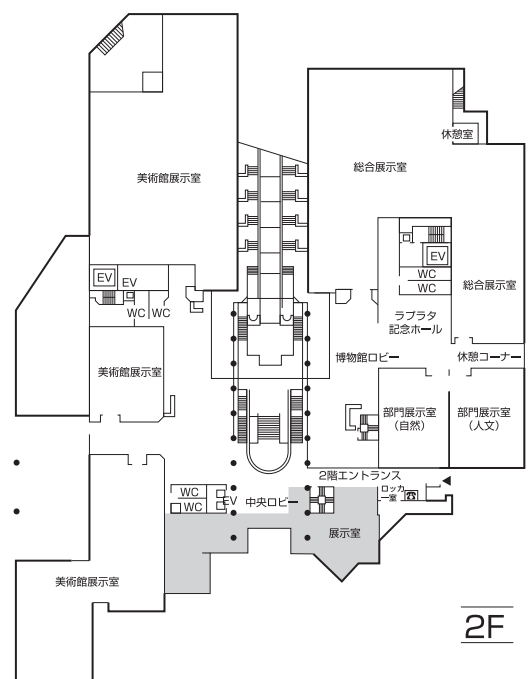
2. 施設の概要

- 所在地 徳島市八万町向寺山
- 敷地面積 40.6ha（文化の森総合公園全体）
- 延床面積 485㎡（展示室、収蔵庫、器材庫等鳥居龍蔵記念博物館占用スペース）
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上4階・塔屋1階・地下1階
- 改築工事 岡島建築事務所（設計）・小野建設（施工）
- 展示工事 (株)丹青社（設計・施工）

1階平面図



2階平面図



(※) 鳥居龍蔵記念博物館の占用スペースのない階は平面図を省略した。

VIII 例 規

●徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号

最近改正 平成26年3月20日 徳島県条例第39号

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。)	1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 2 鳥居記念館に関する調査研究を行うこと。 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(徳島県立図書館、徳島県立博物館、徳島県立近代美術館、徳島県立文書館、徳島県立二十一世紀館の業務は省略)

(利用の許可)

第3条 (省略)

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 (省略)

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全額又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協 議 会 の 名 称	所 掌 事 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

(他館の各協議会の所掌事務は省略)

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 (省略)

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(教育委員会規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表第1 (第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体 (20人以上をいう。以下同じ)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒	1人1回	50円	40円	知事はその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
その他の者 (学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館管理規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

最近改正 平成24年11月7日 徳島県教育委員会規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 鳥居記念館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1)月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その後においてその日に最も近い休日でない日

(2)12月29日から翌年の1月4日までの日

2 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館長（以下「館長」という。）は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 博物館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(遵守事項)

第4条 鳥居記念館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）及びこの規則並びに館長が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(1)泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者

(2)前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第6条 学術その他の目的のために鳥居記念館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、館長の承認を受けなければならない。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、鳥居記念館の管理に関し必要な事項は、館長が定める。

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第5号
最近改正 平成24年3月30日 徳島県教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）第7条第7項の規定に基づき、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

●徳島県教育委員会行政組織規則〔抜粋〕

制 定 昭和45年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号
最近改正 平成27年4月30日 徳島県教育委員会規則第8号

第1章 総 則（省略）

第2章 事務局（省略）

第3章 教育機関〔鳥居龍蔵記念博物館に該当する条項のみの抜粋〕

第4節 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

(名称及び位置)

第27条 文化施設条例により設置された徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島市八万町向寺山

(内部組織)

第28条 鳥居記念館に学芸課を置く。

(業務)

第29条 鳥居記念館の業務は、次の各号に掲げるとおりとする。

1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

2 鳥居記念館資料に関する調査研究を行うこと。

3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。

4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

第6節 職及び職務

(所長等の職務)

第32条 総合教育センター及び埋文総合センターの所長、文書館及び二十一世紀館の館長は、上司の命を受け当該教育機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

(副所長等)

第33条 上司の命令を受け、教育機関の長を補佐させるため、次の表の上欄に掲げる職を同表の相当下欄に掲げる教育機関に置く。

職	教育機関
副館長	図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館

2 教育機関の長に事故があるとき、又は教育機関の長が欠けたときは、教育委員会が指定する職員が、その職務を代行する。ただし、やむを得ない事由により教育委員会が教育機関の長の職務を代行する職員を指定することができないときは、当該機関に属する副所長、次長又は副館長（二人以上置かれているときは、当該教育機関の長が指定する次長又は副館長）が、その職務を代行する。

(主幹等)

第34条 前条に規定する職のほか、教育機関に、次の表の上欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の相当下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
課長	上司の命を受け、課の事務を処理する。
課長補佐	上司の命を受け、特に高度の知識又は経験を必要とする事務、技術又は専門的事務に従事する。
首席学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する専門的事務に従事する。
主査	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする事務又は技術に従事する。
専門学芸員	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
係長	上司の命を受け、当該教育機関の事務に関し命ぜられた事項又は係の事務を処理する。
学芸係長	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に関し命ぜられた事項を処理する。
主任	上司の命を受け、相当の知識又は経験を必要とする事務又は技術若しくは専門的事務に従事する。
主任主事	上司の命を受け、相当の経験を必要とする事務に従事する。
主任学芸員	上司の命を受け、相当の経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
主事	上司の命を受け、事務又は技術に従事する。
学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。

(司書、技師その他鳥居記念館に置いていない職は省略)

第4章 附属機関

(附属機関)

第37条 附属機関の名称、庶務を担当する課等又は教育機関は、次の表に掲げるとおりとする。

名称	庶務を担当する課等又は教育機関
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館

(事務局の各審議会、他館の協議会等は省略)

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第5号 (平成26年度)

平成27年(2015)7月31日 発行

編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

(文化の森総合公園内)

Tel. 088-668-2544 Fax. 088-668-7197

Eメール torii-museum@mt.tokushima-ec.ed.jp

ホームページ <http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/>

印 刷：原田印刷出版株式会社
